

JIM-NET Annual Report 2024

年次報告書



JUSTPEACE!~

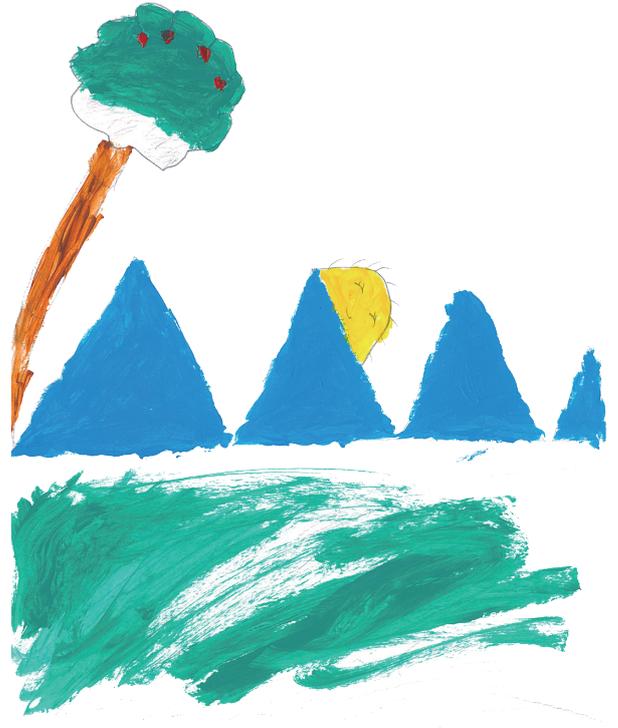
JIM-NET発足20年目の 節目を迎えて。

数年前の理事会で紹介された「ジャストピース (JUSTPEACE)」。JUSTは、JUSTICEのことです。公正とか正義を意味します。それ以来、JIM-NET は多くのイベントで『JUSTPEACE!』という言葉を意識して使ってきました。私たちが目指すものは、誰かを犠牲にした平和ではなく、『公正なる平和』であるというメッセージが込められています。

JIM-NET は、とくに小児がん・白血病で十分な治療が受けられないイラクの子どもたち、国際機関の支援が十分受けられないイラク国内の避難民、いろいろな事情で故郷を離れて暮らさざるを得ないシリア避難民キャンプの人たちなどの「いのち」と「暮らし」「健康」に焦点を当てて活動を続けています。

その根底にある考え方が、「ジャストピース (JUST PEACE)」(公正な平和) なのです。他者・他国の人たちの困難を見過ごして、またその犠牲によって成り立っている平和や安定は、ジャストピースと言いません。JIM-NETは、何処の地域・国であっても、すべての人が等しく幸せに暮らすことができる権利、平和の内に生きることができる権利の実現を願っています。

2024年は、JIM-NET発足20年として、「JIM-NET20募金」を呼びかけました。日本も物価高が続き、買い物での



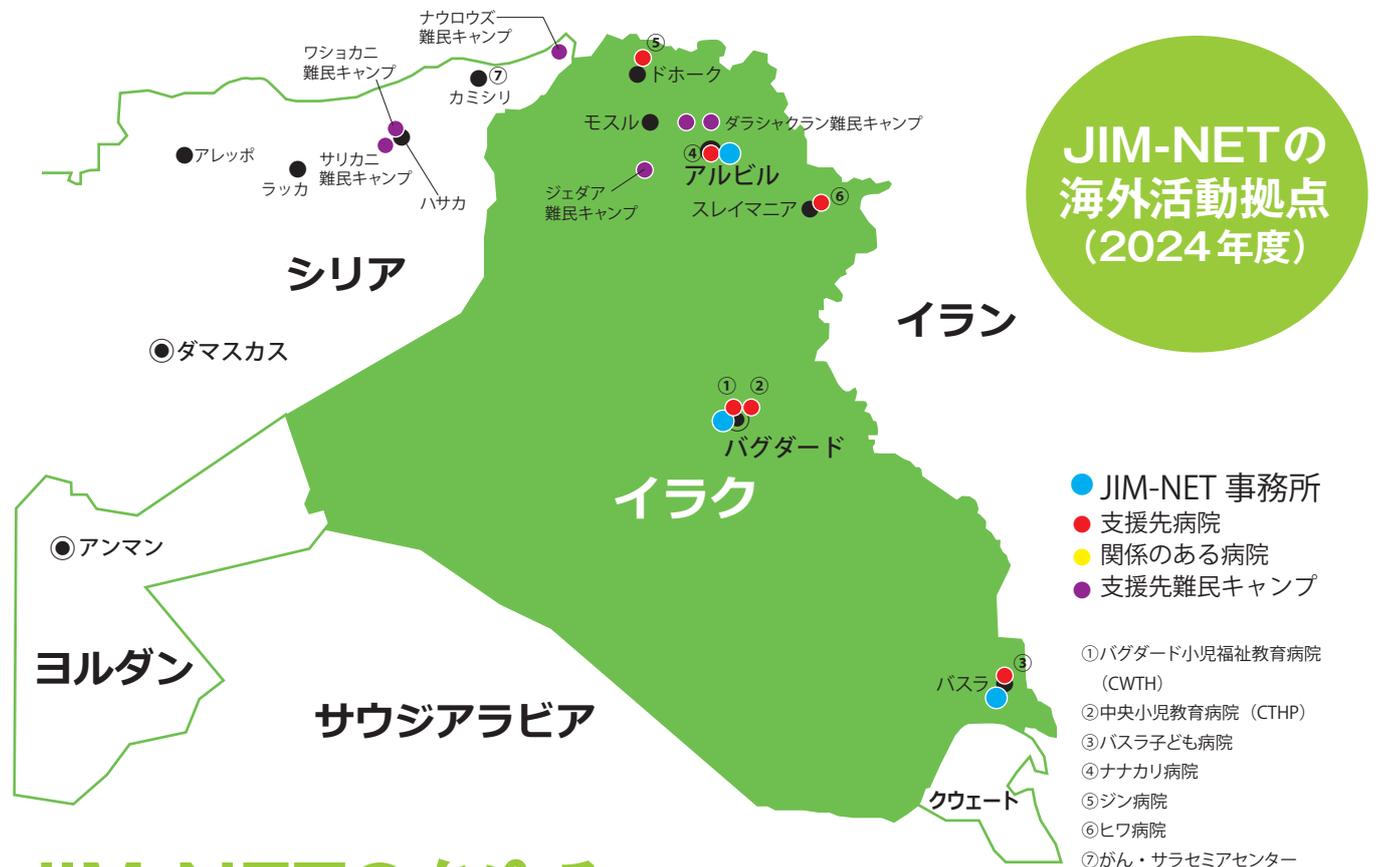
レジ支払い時には、生活に使う金額が上がっていることを実感するなかでの寄附のお願いでした。これまで長く支援くださっている方々をはじめ、チョコ募金やギャラリー展/イベント/SNS発信などでJIM-NETの存在と活動を知った方々も温かなお気持ちを寄せてくださり、東京とイラクのスタッフ一同、大変励まされました。

また、ご親族の方のご遺言やご自身のお気持ちでJIM-NETを通して子どもたちの支援をお申し出いただくことも重なり、感慨深い節目の一年となりました。改めて感謝申し上げます。

振り返ればこの20年間、刻一刻と情勢が変化するなか、いつもJIM-NETの傍らには支援者の皆さまの存在があり、現地の子どもたちとその家族、ひいてはスタッフたちが勇気を頂戴しております。JIM-NETは、イラク戦争の爪痕が残る地で小児がんと闘う子ども達のことを「忘れない」団体として、今後も活動を続ける所存です。

For dawg sarhd
2013-9-17





JIM-NETのあゆみ

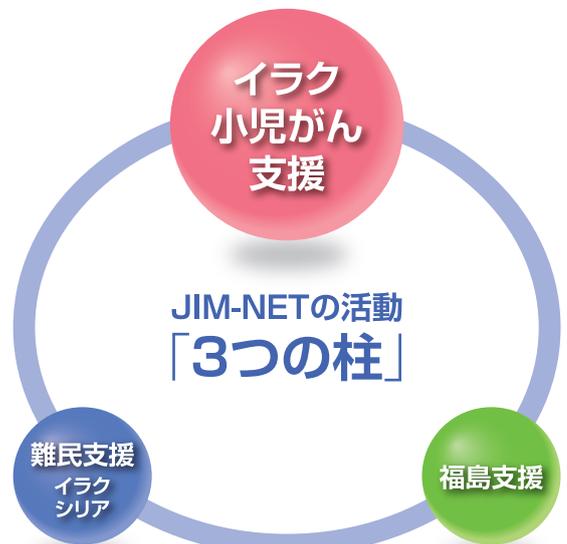
1990年代半ば、イラクの子どもたちの間で、がん・白血病の発症率が急激に増加し始めました。1991年の湾岸戦争時に、米軍が使用した劣化ウラン弾の放射能の影響だと考えられます。しかし、湾岸戦争後の経済制裁による抗がん剤や医療機器の輸入制限のため、適切な治療が受けられず、助かるはずの多くの子どもたちが命を失ってしまいました。

2003年のイラク戦争で、米軍は再び劣化ウラン弾を使用しました。イラクの病院は破壊され疲弊し、保健行政も機能不全に陥り、増え続ける小児がん・白血病の子どもたちにとって危機的な状況でした。2004年6月、来日したバスラ産科小児科病院のジャンン医師と日本の支援者たちの間で、子どもたちの窮状を救うための話し合いがもたれました。そして、より効率的で継続的な支援体制の確立をめざし、NGO、市民グループ、日本とイラクの医師たちが「日本イラク医療支援ネットワーク (JIM-NET)」を立ち上げました。以降、任意団体として7年あまり活動した後、2012年2月1日、特定非営利活動法人 (NPO 法人) となりました。

2011年3月11日に発生した東日本大震災の直後には、宮城県石巻市を中心に、医療支援や仮設風呂の提供を行いました。地震と津波で福島第一原子力発電所の事故が起きた福島県にて、放射能の被害を最小限に留めるべく、除染や保養の支援を継続して行いました。また、2012年4月からは、紛争が激化したシリアから大量の難民が発生したことを受け、イラクとヨルダンにて緊急支援を開始しました。

2019年度には、イラクで初となる小児がん総合支援施設 (通称：JIM-NETハウス) がアルビルのナナカリ病院敷地内に完成し、がんの子どもたちへの教育サポート、患者家族からの相談受付、宿泊場所の提供など心理社会的サポートが本格的に開始されました。

JIM-NETは、イラクの小児がんの子どもたちが自国できちんと治療を受けられるようになり、先進国並みの生存率となるように支援を続けます。福島支援活動も継続し、放射能汚染から子どもたちの健康を守る活動を行う団体への支援を実施していきます。また、シリア難民支援とイラク国内避難民支援にも継続して取り組んでいきます。



小児がん支援



概要

2024年10月、クルド自治区では6年ぶりに議会選挙が実施されました。これまで通りクルド民主党（KDP）が第一党になりましたが、原油の輸出停止による経済悪化、汚職、権力者間の癒着などの政治的課題が山積しています。金融面では、アメリカによる対イラン制裁の影響を受け、イランとの繋がりを指摘されるイラクでは国内の銀行でUSドル不足に陥り、経済活動や国際取引において様々な問題が生じており、JIM-NETの活動にも影響を及ぼすことが懸念されています。また、ナナカリ病院との協議において、JIM-NETハウス内の宿泊機能は継続することが決まり、病院内の部屋不足のため、約2年間中断していたJIM-NETによるがん患者への教育プログラムの再開が決まりました。今後は、コロナ禍で停滞していたがん及び感染症に関する啓発活動にもより一層力を入れていく方針です。



地元大学生がイベントを企画（アルビル）



院内学級でお絵描き（バスラ）



ナナカリ病院への医薬品支援（アルビル）



治療中の子どものケア（バグダード）

こんな活動をしました

■ 医薬品支援・消耗品支援

小児がん専門病院に抗がん剤を中心とした医薬品、医療品を支援しました。

バグダード	約300万円
バスラ	約204万円
アルビル	約117万円

医薬品は、株式会社カタログハウス様、生活協同組合パルシステム東京様、立正佼成会一食平和基金様より多大なご支援をいただきました。

■ JIM-NETハウス

6年目を迎えた小児がん総合支援施設「JIM-NETハウス」では、日々、2名のスタッフが患者家族の相談に乗ると共に、がん患者の子どもを持つ保護者を対象にピアサポートグループを実施し、心理社会的サポートを行いました。また、遠方から来訪するがん患者家族のための宿泊機能は非常に重要ですので、継続して力を入れていく方針です。

【教育支援・課外活動】

年間延べ約1,500人の子どもたちが診察室前の待合所でのアクティビティに参加し、治療前の不安な気持ちを軽減することができました。また、お絵描きワークショップや遠足、医学生主催のイベントなどに延べ73人の子どもたちが参加しました。このような機会を通し、同じ境遇の子どもたち同士が交流を深めることができました。

【ピアサポート】

年間3回、合計30名の保護者に実施しました。似た境遇の仲間と出会い、気持ちや悩みを共有できるのは、とても大きな癒しになります。参加者からは「不安な気持ちを吐き出せた」といった声が寄せられています。

【宿泊者の受け入れ】

24年度は、4,293人（1日平均の利用者11人）のがん患者・家族を受け入れました。ナナカリ病院で宿泊が必要なすべての小児がん患者家族を受け入れることができました。



地元の中学校でがんに関するレクチャー（アルビル）



動物園へ遠足（アルビル）



国内避難民からの相談に乗るスタッフ（アルビル）



貧困患者の家庭訪問（アルビル）



シリア難民貧困患者支援（アルビル）

■ 貧困患者支援

貧困患者に対する支援として、医薬品の購入や病院までの交通費の支援を行っています。貧困患者家族の経済状態は悪化の一途を辿っており、各地域において、担当医師や家族の状況を丹念に聞き取りをしています。

アルビル 647件（地元の患者家族384件、国内避難民及びシリア難民家族263件）
バクダード 167件
バスラ 167件

アルビルでは、貧困患者支援の一環として、患者家族の

生活状況を把握するために家庭訪問を実施しています。

■ 啓発活動

23年度と同様に、復学した子どもたちの学校を中心としたフォローアップを行いました。また、がん及び感染症に関する啓発活動を7校で実施しました。小学校1～3年生に感染症対策、4年生以上にはがんに関するレクチャーを行い、802名が参加しました。

JIM-NETが関わる子どもたち

アリー（13歳）バスラ出身

アリーは、車で2時間かけて毎週病院に通っています。体調が優れない時には週に5日通うこともあり、通院生活は大変です。それでも、病院に来るたびに必ず立ち寄るのがプレイルーム。ここに来るとホッとするとアリー。お絵描きが大好きで、年下の親友・ハスーンと会えることをとても楽しみにしています。プレイルームでは子ども同士が励まし、支え合う姿が見られます。今ではアリーの家族みんなが、大好きなスタッフのサブリンがつけてくれたあだ名「アウィー（＝強い子）」と呼んでいます。勉強が好きで、特に歴史や地学、数学が得意。「将来の夢はまだ分からないけど、学校に行っていっぱい勉強したい」と語ってくれました。



ラワ（4歳5か月）アルビル出身

クルディスタン地域のタクタクという美しい村に住むラワは、赤い発疹をきっかけに急性リンパ性白血病（ALL）が見つかり、2023年から病院に通っています。突然の診断に不安を感じながらも、家族で支え合い、治療を続けています。月に一度の通院では、JIM-NETスタッフのジュワーナ、フダのいるプレイルームが大好き。明るく社交的な性格で、「ジュワーナさんとフダさんはどこ？連れてきて！」と笑顔でスタッフを探す姿が印象的です。入院中は退屈がよく泣いていましたが、今ではたくさんの遊びと出会いを楽しんでいます。昔はこうした遊び場はなく、今の環境はととてもありがたいとお母さんは話します。





2024年度の活動の様子



アルビル



地元の学校でがんに関する啓発活動



お絵描きワークショップ

バグダード



プレイルームの様子

バスラ



院内学級でスタッフと

難民支援

概要

イラク国内の情勢はおおむね安定していますが、イラクおよびシリアの避難民は依然として深刻な人道的危機に直面しています。イラク政府は北部の国内避難民キャンプの閉鎖を進め、自立支援や地域復興を目指しています。しかし、経済的・心理的理由から帰還できない人々も多く、公共サービスが停止したキャンプに留まっている人や、退去を強いられた人々の生活環境は一層厳しさを増しています。

さらに、USAID（米国国際開発庁）による支援打ち切りも避難民に大きな影響を与えています。USAIDはイラクの国内避難民に対して、食料支援、帰還者の住宅修復、職業訓練、心理社会的支援、地域統合支援、水・衛生・教育支援などを行ってきました。特に医療分野では支援全体の65%を占めており、ジャダア難民キャンプでは、国連が提供していたワクチン接種や診療所、ソーシャルサポートが停止または大幅に削減されています。

シリアでは、2024年12月に長期独裁体制を敷いていたアサド政権が崩壊し、暫定政府が樹立されました。政治体制は変化したものの、イスラエルによる南部への攻撃や沿岸部の少数派迫害により、不安定な情勢が続いています。国連によると、国内には700万人超の避難民がおり、多くがキャンプでの生活を余儀なくされています。

JIM-NETが支援する北東部では、12月8日以降、クルド人への迫害を懸念して12万人以上が避難。さらにトルコからの越境攻撃やトルコ・シリア地震、イスラエルによるレバノン攻撃なども重なり、極めて厳しい状況が続いています。

イラクとシリアの避難民は、政治的変動、支援の縮小、生活環境の悪化といった複合的な困難に直面しており、彼らの尊厳と生活の安定を守るには、国際社会の持続的な支援と協力が不可欠です。



シリア・ハサカ市に住む貧困患者家族



がんセンターで治療を受ける子ども



クルド赤新月社を通してシリア北東部緊急支援を実施しました



シリア北東部緊急支援でミルクを配布

活動内容

■ 国内避難民・シリア難民キャンプ（イラク国内）

ダラシャクラン難民キャンプでは、妊産婦や経済的に困難な状況にある女性たちを対象に、手工芸ワークショップを実施し、36名が参加しました。参加者の技術は向上しており、刺繍作品などは日本で開催されたイベントで販売されました。

また、ニナワ県に位置し、シリアからの帰還民が収容されているジャダアキャンプでは、避難民女性を対象に、葉酸、真菌感染症の治療薬、経口避妊薬、ビタミンなど、約112万円の医薬品を支援しました。

■ シリア国内支援（地震被災者支援も含む）

国内避難民やイラクから逃れたヤジディ教徒が居住する3か所のキャンプに対し、約50万円分の医薬品を支援しました。また、2023年に設立されたがんセンターには、抗がん剤を含む約114万円分の医薬品を提供しました。

さらに、旧アサド政権の崩壊後、クルド赤新月社（KRC）と連携のうえ、クラウドファンディングによる北東部への緊急支援を実施しました。約108万円を送金し、移動式

仮設診療所への医薬品支援および子ども用ミルクの提供に充てました。

第2回目の支援は、2025年度に実施予定です。



サリカニキャンプ

福島支援

福島の子どもたちの保養活動や放射能測定などを行う団体に対して、公募・推薦によって選拔し、支援を実施しました。(2024年度募募集期間：2024年7月1日～12月31日)
2024年度は、以下3団体に支援しました。(五十音順、法人格名を除く)



2024年度 福島基金支援先団体一覧

団体名	事業概要	助成額
子どもと原子力災害 保養資料室 《ほよよん》を育てる会	原子力災害関連の資料室開設	¥300,000
NO to YES	北海道での保養活動	¥300,000
NPO 法人アースウォーカーズ	福島とドイツの高校生交流を通してエネルギー転換を学ぶ	¥300,000
	合計	¥900,000

広報・イベント

【刊行物】・JIM-NET 便り年間4回発行
・アニュアルレポート1回発行

【主な開催イベント】

- ◆2024年
 - ・5月10日 シリア地震支援オンライン報告会 (共催：JVC)
 - ・8月21日 子どもアートフェス@練馬ココネリ
 - ・9月7日 イラク活動報告会
- ◆2025年
 - ・3月20日～25日「JUSTPEACE! イラク、シリア、そして世界の子どもたちとともに」映像ジャーナリスト・玉本英子写真展
 - ・3月20日 オンライントークイベント『Pray for Peace! ～朗読と歌、そしてPeaceトーク』
出演：サヘル・ローズ (表現者)、Yae (半農半歌手)、鎌田實 (JIM-NET 名誉顧問)
 - ・3月23日 / 『Dear 16 とおりのへいわへのちかい～朗読とトーク』
出演：サヘル・ローズ (表現者)



トークイベント『Pray for Peace! ～朗読と歌、そしてPeaceトーク』



毎年3月恒例のギャラリー展にて。

チョコ募金

みなさまからの温かなご支援をいただき、2024年度で20回目のチョコ募金の取り組みとなりました。チョコ募金は、冬季限定の募金キャンペーンで1口550円ご寄付くださった方に、チョコレートをお礼としてプレゼントしています。

「絵柄が素敵で毎年楽しみにしています!」「どうか子どもたちが笑顔で過ごせますように」など、たくさんの応援メッセージを頂戴しています。闘病中の子どもたちの絵を通して、平和への思いをお届けしています。

2024年度もたくさんの方からお申込みをいただき、お陰様で13万個すべて終了することができました。ご支援をくださった皆様に心から感謝申し上げます。

- ①1缶（ハート形のチョコ10枚入り）：550円のうち約300円が支援に使われます。
- ②テーマ：『CHOCOLATE for PEACE!』
- ③取組個数：六花亭様のご協力により、13万個
- ④実施期間：2024年11月25日～2025年2月4日まで



◆チョコ募金運営協力（敬称略）

六花亭商事株式会社 / 古茂田工業株式会社 / 株式会社江連金属印刷所 / 有限会社佐賀製作 / 有限会社山猫印刷所 / 社会福祉法人 川崎市社会事業団 KEJ 多摩はなみずき / 日本国際学園大学・講師 野田美波子 / 菊地祥真 / SEO株式会社 / MAYUMI/S-GUMIZAWA

収益事業

COFFEE for PEACE !

2024年度で4回目の取り組みとなった「COFFEE for PEACE !」（ドリップコーヒー）もたくさんの方からお申込みをいただき、お陰様で大変ご好評をいただきました。

株式会社キャメル珈琲のご協力で、子どもたちの絵がパッケージに印刷され、子どもたちの絵に触れていただける貴重な機会となりました。

1セット（2個入り）：550円（税込み）
うち約200円がJIM-NETの活動資金となります。

取組個装：株式会社キャメル珈琲様のご協力により、2万個
実施期間：2024年9月12日～2025年3月31日



◆COFFEE for PEACE ! 運営協力（敬称略）

株式会社キャメル珈琲 / 古茂田工業株式会社 / 社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会 / 新宿区立高田馬場福祉作業所 / 日本国際学園大学・講師 野田美波子 / 菊地祥真 / SEO株式会社 / MAYUMI/S-GUMIZAWA

海外事業

アルビル県を中心とした包括的小児がん患者支援

事業地：イラク・クルド自治区アルビル

対象者：約5,000人 (JIM-NET/ハウス滞在の患者家族含む)

活動内容：心理社会的サポート、医薬品支援、貧困患者支援、がんに関する啓発活動

シリア難民・イラク国内避難民に対する緊急医療支援

事業地：イラク・シリア

対象者：約500人

活動内容：医薬品支援、家族計画支援

バグダード小児がん支援

事業地：イラク・バグダード

対象者：約1,000人

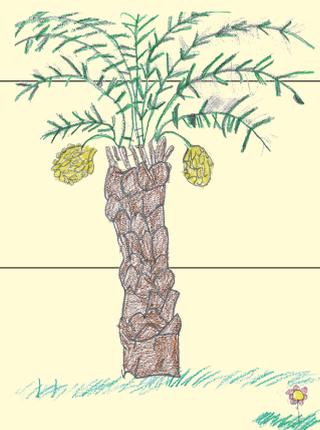
活動内容：医薬品支援、貧困患者支援、院内学級運営

バスラ小児がん支援

事業地：イラク・バスラ

対象者：約1,000人

活動内容：医薬品支援、貧困患者支援、院内学級運営



国内事業

福島事業 (福島基金)

1. 福島の子どもを対象にした被曝から守る活動を行っている団体の活動に対して支援を行う。
2. 2025年7月1日から公募を開始する。

チョコ募金

1. テーマ：CHOCOLATE for PEACE !
2. デザイン：イラクと日本をオンラインで繋ぎ、お絵描きワークショップを行い、子どもたちが描いた絵を、チョコ缶のデザインとする。
3. 取組個数：13万個
4. 受付スタート：2025年11月中旬から受付スタート予定。

サポーター・ ファンドレイジング

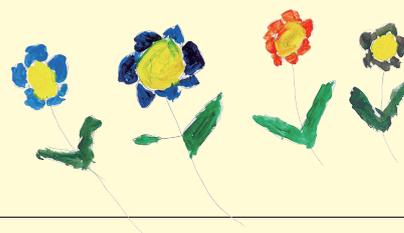
1. ご寄付お願いチラシを作成し、広く周知に努める。

収益事業

1. ドリップコーヒー・COFFEE for PEACE ! 第5弾
9月中旬より新デザイン (1万セット) を販売スタート予定。
2. その他グッズ
イベントなどで随時販売予定。

広報・イベント

1. 広報
HPの充実化 (写真の更新、応援くださっているインフルエンサー紹介など) イベント
2. 報告会など各種チャリティイベントの実施。



2024年度決算

活動計算書 2024年4月1日~2025年3月31日

I. 経常収益		(単位:円)
科目	決算額	
受取会費	正会員受取会費	95,000
	サポーター受取会費	2,244,000
	ラナサポーター受取会費	3,390,000
	合計	5,729,000
受取寄付金	受取寄付金	69,016,468
	チョコ募金	73,857,872
	合計	142,874,340
受取助成金	1,841,753	
合計	1,841,753	
事業収益	自主事業収益	6,560,230
	受託事業収益	17,050
	合計	6,577,280
その他収益	受取 利息	9,619
	雑 収 益	57,550
	受取講演料等	30,000
	合計	97,169
経常収益計	157,119,542	

II. 経常費用/III. 経常外収益/IV. 経常外費用 (単位:円)

科目	決算額		
事業費	その他 経費	人件費(給与手当、通勤費他)	37,723,535
		売上原価	1,990,730
		旅費交通費	10,223,655
		その他費用(家賃、水道光熱費他)	19,444,497
		医薬品支援	10,082,692
		貧困患者支援	14,936,153
		その他支援	4,601,682
		ワークショップ等開催費	731,183
		寄付金原価	24,386,935
		印刷広告宣伝費(事業)	5,988,967
事業費計	130,110,029		
管理費	その他経費(事務所家賃他)	人件費(給与手当、通勤費他)	10,504,389
		その他経費(事務所家賃他)	5,081,026
管理費計	15,585,415		
経常費用計	145,695,444		
経常外収益計	0		
経常外費用計	70,000		
当期正味財産増減額	11,354,098		
前期繰越正味財産額	188,855,835		
次期繰越正味財産額	200,209,933		

貸借対照表 2025年3月31日現在

資産の部		(単位:円)	負債の部		(単位:円)
科目	金額		科目	金額	
【流動資産】					
現金・預金	190,767,387		未払金	1,259,284	
未収金	82,801		未払費用	980,550	
棚卸資産	536,481		預り金	531,255	
(その他流動資産)			仮受金	64,950	
前払費用	0		負債合計	2,836,039	
仮払金	0		【正味財産】		
緊急時対応準備金	11,000,000		前期繰越正味財産額	188,855,835	
流動資産合計	202,386,669		当期正味財産増減額	11,354,098	
【固定資産】					
什器備品	34,343		正味財産合計	200,209,933	
敷金	624,960				
固定資産合計	659,303				
資産合計	203,045,972		負債及び正味財産合計	203,045,972	

監査報告書

監査報告書	
INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT	
<p>特定非営利活動法人 JIM-NET の 2024 年度決算 (2024 年 4 月 1 日 - 2025 年 3 月 31 日) について、監査の結果、事業は適正に実施され、また活動計算書および貸借対照表は、一般に公正妥当と認められる会計原則に基づいて作成されていることを認める。</p>	
<p>I have audited the financial statement of NPO JIM-NET as of March 2024 and acknowledged that revenue and expenditures for the Fiscal Year 2023 in the activity statement and balance sheet were based on generally accepted accounting principles.</p>	
日付:	2025年6月1日
監事:	今井高樹

2025年度予算

活動予算書 2025年4月1日~2026年3月31日

I. 経常収益		(単位:円)
科目	決算額	
受取会費	正会員受取会費	70,000
	ラナサポーター受取会費	5,500,000
	合計	5,570,000
受取寄付金	受取寄付金	25,250,000
	チョコ募金	75,300,000
	合計	100,550,000
受取助成金	2,300,000	
合計	2,300,000	
事業収益	自主事業収益	6,780,000
	合計	6,780,000
その他収益	50,000	
合計	50,000	
経常収益計	115,250,000	

II. 経常費用/III. 経常外収益/IV. 経常外費用 (単位:円)

科目	予算額		
事業費	その他 経費	人件費(給与手当、通勤費他)	34,751,000
		旅費交通費	9,364,000
		その他費用(家賃、水道光熱費他)	16,634,000
		医薬品支援	10,200,000
		貧困患者支援	13,050,000
		その他支援	6,019,000
		ワークショップ等開催費	1,222,000
		業務委託費	1,050,000
		寄付金原価	25,235,000
		印刷広告宣伝費(事業)	5,918,000
事業費計	123,443,000		
管理費	その他経費(事務所家賃他)	人件費(給与手当、通勤費他)	13,866,000
		その他経費(事務所家賃他)	5,115,000
管理費計	18,981,000		
経常費用計	142,424,000		
当期収支差額	△ 27,174,000		

JIM-NET参加団体紹介

アラブの子どもとなかよくする会／株式会社カタログハウス／一般社団法人 子どもの平和と生存のための童話館基金／「サダコ」・虹基金／医療法人社団スマイル スマイル こどもクリニック／認定NPO法人 日本国際ボランティアセンター (JVC)／認定NPO法人 日本チェルノブイリ連帯基金 (JCF)



ご支援いただいた皆様の紹介 (敬称略)

◆助成金

宗教法人立正佼成会 (一食平和基金)

◆ファンドレイジングサービス

TMコミュニケーションサービス株式会社 (お宝エイド)／株式会社ブギ古本チャリティ募金)／gooddo 株式会社 (gooddo)／ソフトバンク株式会社 (つながる募金)／株式会社 STYZ (Syncable)／ピープルポート株式会社 (ZEROPC 想うプロジェクト)

誌面の都合上、大口のご寄付をいただいた企業・団体を掲載しております。ご寄付を賜りましたすべての皆様に、深く感謝申し上げます。

◆チョコ募金 (9,689件)

株式会社アルソア慧央グループ／ビア&カフェ BERG／自然派くらぶ生活協同組合／大王製紙株式会社／札幌イラクチョコ募金の会／学び舎英語塾／ゴスペル・スパークル／株式会社ミズ／旭松食品株式会社／静岡西部健康友の会／一般社団法人文民教育協会子どもの文化研究所／認定NPO法人 WE21ジャパンこうほく／住友理工株式会社／医療法人共生会介護老人保健施設光の森／特定非営利活動法人 WE21ジャパンさかえ／株式会社 A&E プロダクション

◆ご寄付 (3,555件)

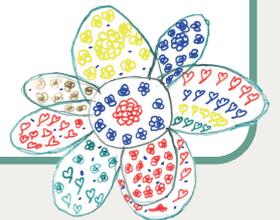
株式会社カタログハウス／生活協同組合パルシステム東京 (平和カンパ)／全国友の会中央部／トゥーマッチトーキョーズ／日本中近東アフリカ婦人会／有限会社エリコ通信社／tenbo デザイン事務所／革工房パロール

JIM-NETは、イラクのアルビル、バスラ、バグダートでの小児がん患者支援、シリア 難民やイラク国内避難民への緊急医療支援 などに取り組み、中東の平和に貢献しながら 国内では福島の子どもたちへの支援とともに約 20 年間活動をしてきました。

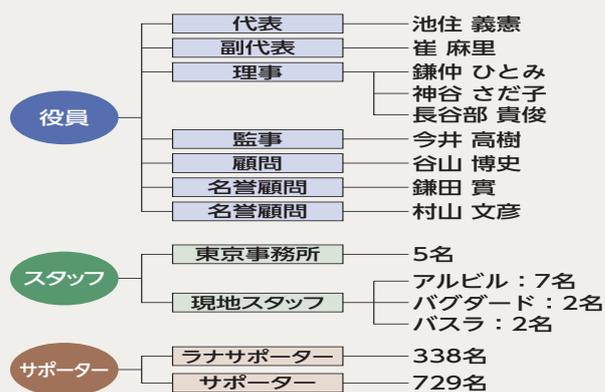
活動20年目という節目の年の締めくくりとして、2025年3月には神保町・文房堂ギャラリーで『JUSTPEACE! ~イラク、シリア、そして世界の子どもたちとともに』を開催しました。通常の業務に加え、チョコ募金の作業が終わってからのギャラリー展は、支援者の皆さんとスタッフたちが直接お会いできる貴重な場です。

映像ジャーナリストとして活躍される玉本英子氏が取材先で撮影された写真 40 数点の展示で 2004 年～ 2019 年までのイラクとシリアの様子が窺えました。22 年前のイラク戦争を知らない方々も多いのですが、戦争の爪痕を感じさせる写真の中には、戦時下の家族の団らんや子ども達の笑顔も見られ、普通の暮らしがある日突然、戦争や紛争という形で一変してしまうと感じました。

会期初日の3月20日はイラク戦争の開戦から22年目。いつもJIM-NETを様々なスタイルで応援くださるサヘル・ローズさん (表現者) と Yae さん (半農半歌手) をお迎えし、鎌田實 (JIM-NET 名誉顧問) と「Peace talk」と題して様々な思いを語っていただきました。サヘルさん「知ることこそが平和への第一歩」「戦争を始めるのが人間なら、平和を始めるのもまた人間」、Yae さん「土に触れ、命をつなぐ『食と平和』」「争いは、何かを”区切って”ジャッジした瞬間に生まれる。だから私は、できるだけ”選択しない”人生を送りたい」鎌田「どんなに悲惨な世の中でも、どこかにはすこい芽がある。そこにはほんの少しの水を注ぐことができれば、その芽はきっと花開く」…。ウクライナ、パレスチナの状況はどんどん悪化し、世界は混迷していますが、いのちを想いあい、「いのち」への敬意こそが平和につながることを改めて気付くことができました。日々の業務に追われる事務局ですが、こうしたイベントは支援者の皆さまをはじめ、普段はお目にかかることができない方々とお話しすることができる貴重な場です。



組織体制 (2025年3月現在)



2024 年度年次報告書

2025年7月30日発行

特定非営利活動法人 JIM-NET (ジムネット)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-11 内藤ビル2C

電話：03-6228-0746 E-mail：info-jim@jim-net.net

寄付金振込先：ゆうちょ銀行振替口座 00540-2-94945 加入者名 日本イラク医療ネット

他行からのお振込の場合：

預金種目 当座 店名 ○五九店 (○は漢数字のゼロ) 口座番号 0094945

<http://jim-net.org/>

